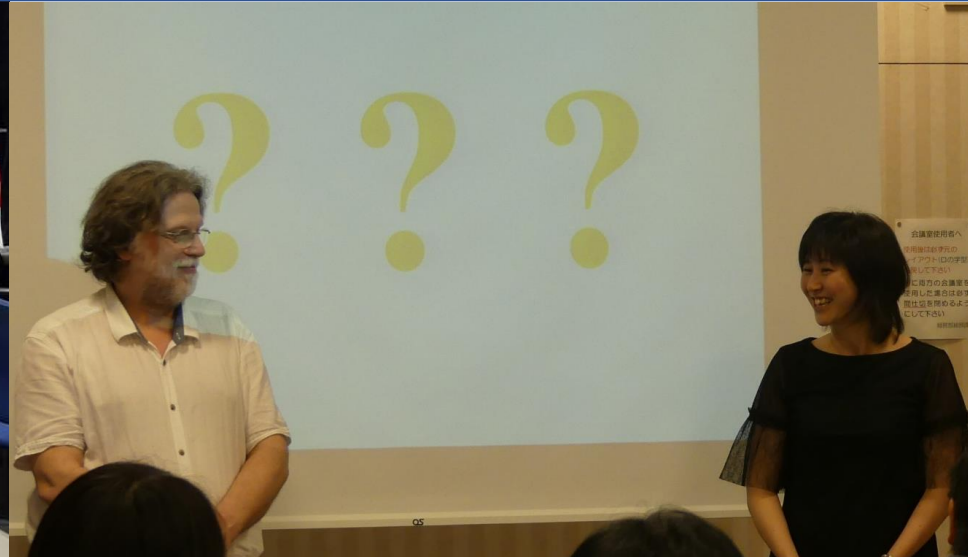




気候変動教育/ESD等の実践



気候変動関連の教材・プログラム開発



持続可能な地域づくり@西池袋



国内外の気候変動教育の調査研究

分科会に参加して感じたこと等①

* **地域レベルの視点**: 影響や対策、可能性が異なる。効果的なCO2削減。

【課題】

- * **CCE**としての知識・指導レベル等の**基準はない**。
- * **指導者**への**体系的な研修の不足**(プログラムごとにはある)
- * 学校現場に広げる場合:**教員に実施してもらうのか？ 出前授業で実施するのか？**
- * **授業時間の確保(1時間以上)**
- * **発達段階**による**活動(学習)範囲**の設定や**内容の選定**
- * **県レベル**等で教材に使用できる**影響等のデータの不足**→**学習内容の構築に重要**

【協働の工夫】

- ・ **自治体(環境、教育部署)**、企業や団体、NGO、学校間での協働関係の構築(京都・静岡)
- ・ **県の環境部署**が主体となり、他部署や様々な主体に声をかけている(福井)

【展開の仕組み】

- ・ **市の環境政策、家庭部門の温暖化対策の実行計画に教育が位置づけられている**(京都、静岡)
- ・ 他の主体への展開の工夫: 動画やガイドブックの作成、展開のアドバイス(京都、静岡)

分科会に参加して感じたこと等②

【学習手法の工夫】

- ・**家庭内**での行動を促す:エコライフチェック&ふりかえり、活動
- ・**コンピテンシーの習得**を目指した**学習手法**の導入:
 - ★**ミステリー**(複雑な事象の本質を理解する。システム思考)
 - ★**ジグソー法**(総合的に問題を考え、解決策を考える)
- ・生徒のやる気を喚起し、**具体的な行動**につなげる。
 - ★**マニフェスト作成&模擬投票**
- ・**地域の気候変動による影響**を知る
 - ★**地元学**
 - ★**地域でできる具体的な対策**(緩和策・適応策) を考える

【脱炭素を目指す視点から】

- ・**行動に参加すること**によって学ぶ→**地域で参加できる行動メニュー**を増やす
- ・**地域の現状(影響・対策・可能性)**を知り、より大きな範囲から対策を考えられるようにする→**家庭内から家庭の外へ(家庭と地域をつなげる)**
- ・**地域の脱炭素をすぐに実行しやすい主体**(社会人・企業等)への**教育の充実**
→企業の研修や、地域の公民館の行事など